

2019年10月31日



森と海の自然科 活動報告 「川と街道を訪ねてーNo26」

淀川水系恩智川流域 生駒山地西麓・なるかわ園地散策

＜観察河川：豊浦谷(暗溪)、客坊谷、鳴川谷(鳴川)、御神田川、その他＞

1：日時 令和元年10月31日

2：集合 近鉄奈良線 枚岡駅

3：参加者 19名

4：行程

10:00

枚岡駅

枚岡神社(河内国一宮) オガタマノキの実を見つける。



オガタマノキは古代から神聖視されていて神社仏閣では御神木にされる事もある

棕ヶ根橋休憩所
豊浦橋

暗溪(豊浦川)溪流の砂防工や床固工による河床を観察する。



枚岡展望台

※ヤブミョウガ、アオキなど

神津嶽
神津嶽休憩所

枚岡神社の元々の鎮座地

11:50 みはらし休憩所
客坊大橋
せせらぎ広場

昼食

※シロダモ、スズメウリ、ノブドウ、カキ、ゴンズイ、
センダン、キリ、クマノミズキ、イヌビワ、ホトトギスなど

赤いトンネル



旧春日神社本殿

四条村の氏神であったが明治政府の神社統合整理により
枚岡神社に合祀され残った本殿などが保存されている

14:00 東大阪市立
郷土博物館

特別展：トライ人との共生

古墳時代～明治時代の渡来人の足跡と彼らがもたら
した文化、彼らの見た東大阪の姿を追う展示

常設展： 東大阪に人々が暮らし始めたおよそ2万年前から
昭和時代迄の道具や活動の後をとおして暮らしぶり
をみることができる展示。

なかでも河内七谷の急峻な谷川を利用した水車に
よる様々な産業が興っていた事を示す展示は
当日歩いた谷筋に思いを馳せる事の出来る興味深い
ものだった。

15:00 瓢箪山稲荷神社

辻占の総本社

背後にある小丘は瓢箪山古墳、6世紀頃の双円墳で瓢箪に
似た形状から一帯と古墳が瓢箪山と呼ばれている。

鳴川の下流である長門川と恩智川の合流点を見るべく西に向かったがエネルギー切れ
で断念。

線路沿いに流れる御神田川を北上し瓢箪山駅に到着。

15:30 瓢箪山駅にて解散

未だ紅葉は見る事は出来ませんでしたが、好天に恵まれ時折の心地良い秋風と緑に包まれた一日でした。
皆様お疲れさまでした。